



ピアネット・マンスリーの発行について

ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット運営事務局》

## 課外教養プログラム（学生センター）

### 「幾何学模様のガールズエンドー二部演劇研究会によるマナー・モラル啓発劇ー」を実施しました

9月26日（水）から9月28日（金）までの3日間、市ヶ谷キャンパスで「大学生が考えるマナー・モラル向上キャンペーン」として法政大学二部演劇研究会による啓発劇「幾何学模様のガールズエンド」が公演され、3日間を通して95名が観劇しました。代表学生からは「今回の公演の一つのテーマとして、「他人の領域に無遠慮に入り込む」というものがありました。SNS等の普及により、他人の私生活やプライバシーなどに容易に入り込むことが出来るようになった昨今、今回のような内容の公演を通じ、そうした事に対して一石を投じることが出来たのだとしたら有意義な啓発公演にすることが出来たのだと思います。機会がありましたら、来年度以降もこのような公演を通じて、サークル員一同で啓発の一端を担うことが出来ればと思っております。」とコメントがありました。

二部演劇研究会パンフレットより

土曜日。つまりは週末。旅館にて、「いろんなゲーム愛好会」とかいうふわっとしたサークルの色彩をもつ女子4人。おそろいの着メロ、学年を超えたタメロ。アホほどマイナーなゲームの世界大会の帰り。占領された温泉。流せない汗。

必ず入ると揺るがない意志。翻弄される演劇部の高校生たち。消灯時間という迫るリミット。飛び交う脱獄囚のニュース。

ついでに花火大会中止の知らせ。漏らす不安。「最近ストーカーされてるかも。」暗躍する黒い影。おっかない女将。このへんでイキってる自称暴力団。

4色問題。伝説のゲーマーJK。最後にいろいろ繋がる…かもしれない群像劇コメディー！



劇中の様子  
(登場人物が四色問題について話す様子)



(テレビの報道で暴力団が脱走した事を  
知り驚く様子)



(暴力団と伝説のゲーマーJK  
がパズルゲームに興じる様子)



集合写真



## ボランティアセンター

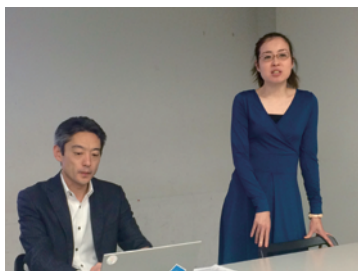
### 「ある日難病になったら？～難病や共生社会への理解を深めよう～」を実施しました

市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフ（VSP）が10月19日（金）に「ある日難病になったら？～難病や共生社会への理解を深めよう～」を実施し、18名の学生が参加しました。

希少難病とは、希少、原因不明かつ経過が慢性で負担の大きい疾患です。今回は講義やワークショップを通して、難病が誰にでも起こりうる身近な疾患として理解を深めると共に、周りの人の目に見えない内部障がい者でも豊かに暮らせる共生社会の実現を目指し、私達にできることを学びました。

本企画では、特定非営利活動法人希少難病ネットつながりの理事長である香取久之氏と、病気と生きるプロジェクト主催者である麻田モモカ氏をお招きし、難病の理解を深める講義やワークショップを開催しました。

前半では、難病や、難病を取り巻く制度や社会問題に関する講義を行いました。学生には、難病は身近に感じられないかもしれませんが、実は誰にでも起こり得るという認識を深めてもらいました。また、講義の後半では、持病に関わらず誰もがやる気や能力で認められる社会の構築の重要性をお話しいただき、大変考えさせられる講義となりました。後半では、難病当事者の理解を深めるワークショップを行いました。難病患者は自身の身体に負荷がかけられている状態で生活をしています。そこで、チーム対抗戦で班員がクイズに3問正解するまで、班員の一人が「腹筋」という負荷をかけられる状態を作り、難病当事者の疑似体験をしてもらいました。このワークショップは大変盛り上がり、当事者意識を持つことで、難病患者への理解を深めることができました。



講師の香取久之氏と麻田モモカ氏



難病についての講義を熱心に聞く



ワークショップ



## 【ライブラリーサポーター（市ヶ谷・多摩・小金井）】

### 学生選書を展示しました！

ライブラリーサポーターが、「紀伊國屋書店 新宿本店」へ足を運び、「学生のみなさんに読んでもらいたい！」と思う本を選びました。

選んだ本は、9月から10月にかけて、手作りのPOPとともに、3キャンパス図書館で展示しました。

現在は、各館の「学生選書コーナー」に配架しています。

ライブラリーサポーターが真剣に選んだ本ですので、ぜひ手に取ってみてください。



展示風景（市ヶ谷）



夏合宿の様子



## F D推進センター

### 夏合宿を実施しました！

昨年に引き続き、9月14日（金）～15日（土）に今年も多摩キャンパスの百周年記念館にて夏合宿を実施しました。

春学期の活動を振り返りつつ、秋学期のメインイベントでもある「学生が選ぶベストティーチャー賞」について集中的に話し合うことができました。夜には多摩キャンパス内でBBQを実施し、親睦を深めることもできたので、秋学期の活動に向けて良いスタートが切れたのではないのでしょうか。

### 2018年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」を実施しました。

2018年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」が10月24日（水）～11月16日（金）の期間で実施されました。キャンペーンブースでは、投票用紙と交換でえこびんグッズがゲットできる抽選会を実施し、例年どおり多くの学生の皆さんにお越しいただきました。結果は12月中旬を目途に教育開発支援機構 HP にて公開し、12月26日（水）に表彰式を行う予定です。



ベストティーチャー賞の様子（市ヶ谷）



## 学習ステーション

### 「HALLOWEEN 企画」を実施しました

10月17日（水）～10月30日（火）の期間に外濠校舎3階フリースペースで常駐アシスタントプログラムやアンケートを実施しました。

10月24日（水）にはえこびんが応援に駆けつけてくれるなど、学習ステーションの活動を広く広報することができました。



仮装したえこびんが応援に駆けつけてくれました



プログラムの様子

## ◆編集後記◆

秋の季節が間もなく終わってしまいますね。秋と言えば「文化（読書・芸術）の秋」「味覚の秋」などのように様々な表現が用いられます。過ごしやすい季節だからこそ、何をするにも打って付けなのかもしれません。みなさんはどの秋の表現が適していますか？今回は「スポーツの秋」にスポットを当ててみたいと思います。

様々なスポーツの試合が開催されている中、私は先日、ラグビーの試合を観ました。ニュージーランド（オールブラックス）対オーストラリア（ワラビーズ）戦です。

2019年にラグビーワールドカップ日本大会を控えていることもあり、ラグビー大国の二ヶ国による試合がなんと日本の会場で行われたのです。

熱き男たちのぶつかり合いには、興奮と内から湧き出る何とも言えないうずうずしたものを感じ、その後は高ぶる気持ちをぶつけるかのようにクラブチームでラグビーの練習をしました。何か運動を始めてみたい気持ちはあるけれど、億劫になってしまうという方には、ぜひ、ラグビー観戦（スポーツ観戦）から始めてみることをおすすめします。

ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしています。

<<事務局：堀越>>